



体力づくりは

学校 家庭 地域の連携で

…… 平成29年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果 ……

全国体力・運動能力、運動習慣等に関する調査(実技8種目および児童生徒質問紙)が、小学5年と中学2年を対象に実施されました。
 体力向上に向けて、体育の授業をはじめ、家庭や地域と連携した取り組みの充実が重要になります。まち総ぐるみで、子どもたちの体力づくりの取り組みが期待されます。

※お問い合わせは、教育委員会子ども課(☎2-3014)まで

■「体格(身長・体重・肥満痩身)の傾向

小中学校男女の身長と体重はともに全国を上回り、小学校男子は4年連続、小学校女子は5年連続になります。

中学校男子の身長は4年ぶり、体重は5年ぶりに全国を上回りました。中学校女子の体重は全国・全道を4年ぶりに上回りました。

小中学校男女とも肥満・痩身傾向児の正常の出現率は全国・全道を下回り、小学校男女に「軽度〜中程度肥満」傾向が見られます。



■「種目別運動能力の傾向

小学校男子の「握力」「上体起こし」「20mシャトルラン」「ソフトボール投げ」の4種目、女子の全種目(8種目)は全国・全道を上回っています。女子の「反復横とび」は4年ぶりの全国・全道超えになります。

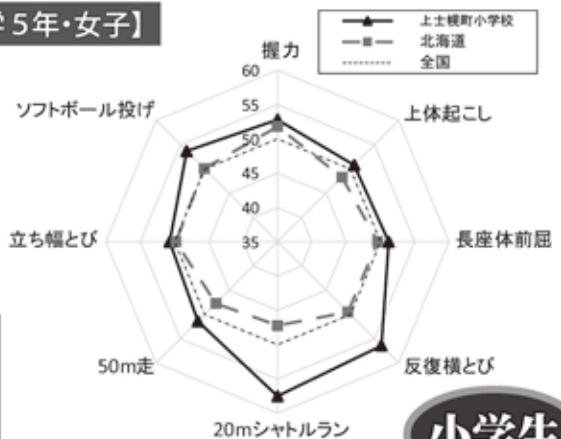
一方、男子の「長座体前屈」と「50m走」は5年連続、「反復横とび」は4年連続全国・全道を下回り、今後に課題を残しています。

町内小学校の状況 (学校数:3校、児童数:42名)

【小学5年・男子】



【小学5年・女子】



小学生

- 男子は、「握力」「上体起こし」「20mシャトルラン」「ソフトボール投げ」の4種目において全国・全道を上回りました。
- 女子は、8種目全てにおいて全国・全道を上回りました。

上士幌町の児童・生徒の体力の傾向

※全国平均を「50」とした場合の数値

中学校男子の「握力」

「20 mシャトルラン」

「50 m走」

「ハンドボール投げ」の4種目、女子

は「握力」「反復横とび」

「50 m走」の3種目が全

国・全道を上回り、「20

mシャトルラン」「ハンドボール投げ」は調

査年度から連続全道を上回っています。一

方、男子の「立ち幅とび」は全国・全道を4年

連続下回り、今後課題を残しています。



「運動に対する意識や

運動習慣の傾向

「運動が好き」の肯定傾向は小学校男子が100%、小学校女子や中学校男女もほぼ5年連続全国・全道を上回っています。

「体力に自信がある」の肯定傾向は小学校男子が60%台に増え、全国・全道を上回っています。

「体育・保健体育の授業は楽しい」の肯定傾向は、小学校が中学校より高く継続しています。

「今後の取り組み

今回の調査結果をもとに、生涯にわたって「運動する」意欲を育て、体験をおして

体力づくりの大切さを身に付けるために、学校・家庭・地域が連携し「運動」を日常化することが大切です。

そのためには、

①児童生徒の実態を踏まえ、「できる・わかる授業づくり」に努めるとともに、意欲をもち継続した運動ができるように、目標を立てて成就感や満足感を味わい、自信のもてる取り組みを大切にします。

②課題のある種目について、体力の5要素である「力強さ」「敏捷性」「タイミングの良さ」「柔軟性」「持続性」をバランスよく取り入れ、全国・全道を下回る要素は意図的に補強運動として継続的に取り組みます。

③スポーツ少年団や部活動などで運動する児童生徒に対して、継続して取り組めるように条件整備に努めます。

④運動時間と回数の多さが体力向上を促進する要因となります。体を動かすことの楽しさ、心地よさが感じられるように運動の日常化に努めます。



町内中学校の状況 (学校数:1校、生徒数:36名)

【中学2年・男子】



【中学2年・女子】



中学生

○男子は、「握力」「20 mシャトルラン」「50 m走」「ハンドボール投げ」の4種目において全国・全道を上回りました。
○女子は、「握力」「反復横とび」「50 m走」の3種目において全国・全道を上回りました。